



国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



福島市

記者発表

平成28年 4月26日
水辺の会わたり
福島河川国道事務所
福島市

わたすみずべ がっこう
「渡利水辺の楽校」リニューアルオープン！

～ 震災後の阿武隈川の水辺に、賑わいが戻ります ～

震災後、利用が制限されていた「渡利水辺の楽校」は、地域からの要望による除染工事と河川管理施設の安全利用点検が終わり、利用者の安全性が確認されたことから、5月2日にリニューアルオープン式を実施しますので、お知らせします。

- 日時：平成28年5月2日（月）13時15分～（1時間程度）
※小雨決行。荒天の場合はお問い合わせください。
- 場所：福島市渡利地区（阿武隈川右岸松齡橋下流約100mの河川敷）
※駐車場は大仏橋の下の河川敷。（別添位置図を参照ください）
- 主催：水辺の会わたり、福島河川国道事務所、福島市
- 主な式典の内容：
 - ①リニューアルオープンにあたってのあいさつ
 - ②渡利小学校児童による「オープン宣言」
 - ③記念行事としての「鯉のぼり掲揚」

発表記者会〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

- 水辺の会わたり 会長 横山 壽昭
〔事務局：福島市役所 渡利支所〕
・ 渡利支所長 高橋 幸司、副主査 本田 恭崇
TEL024（523）5001
（福島県福島市渡利字舟場7-1）
- 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
・ 伏黒出張所長 栗田 外美
TEL024（583）3233
（福島県伊達市箱崎字中32-1）

渡利水辺の楽校 位置・平面図



駐車場・式典会場



●駐車場から式典会場までは、徒歩でお越しください。

《参考》 渡利水辺の楽校のこれまでの経緯

- 「渡利水辺の楽校」は、平成8年6月に国土交通省福島河川国道事務所が阿武隈川の福島市渡利地区の河川敷に、遊びの場・自然体験の場・自然学習の場として整備したものです。
- 地域の方々の憩いの場として利用されるとともに、地元住民で設立された「水辺の会わたり」により、関係機関との協働による合同清掃、サケの稚魚放流、野鳥観察会等、地域に密着した活動が実施されてきましたが、平成23年3月の震災後は放射能の影響等から利用は制限されてきました。

【水辺の会わたりのこれまでの主な活動】

- ・平成9年度から、渡利小学校児童と鮭の稚魚放流を実施。
平成23年度～平成26年度は、渡利小学校で稚魚を飼育、観察してもらい、水辺の会わたり会員が放流した。平成27年度は渡利小学校児童との放流を再開した。
- ・平成15年度から、サンクチュアリゾーンを活用した野鳥観察会を実施。
平成23年度～平成27年度は室内での野鳥学習会を実施した。
- ・阿武隈川の水質調査（COD測定）を実施。
平成24年度～平成27年度は渡利小学校で児童と一緒にいった。

渡利小学校児童との「鮭の稚魚放流」の様子



渡利小学校児童も参加した「合同清掃」の様子



- このほど、地域の要望を受け実施した、国土交通省福島河川国道事務所による除染工事が終了（4月上旬で概成、現在緑化部の養生中）するとともに、河川管理施設の安全利用点検（水辺の会わたりと合同点検）※を4月13日に実施し、利用者の安全性が確認されたことから、リニューアルオープン式を実施します。

※の補足

- ・「河川管理施設の安全利用点検」の結果については、4月25日に福島河川国道事務所等が記者発表した「GM前に管理施設の安全利用点検を実施」を参照願います。